



1



7



4



3



6



5



2

1. 開会式会場の豊科南部総合公園に集うランナー。 2. 号砲が鳴り、一斉に駆け出す。 3. 北アルプスと田園風景の中を走る。 4. コース沿いには迫力の太鼓。威勢の良い太鼓と声援でランナーの背中を押す。 5. それぞれのペースで安曇野を満喫。 6. コース沿道では小旗を手に市民がエールを送る。小旗は小学校1・2年生・保育園・幼稚園児が制作した。 7. 約21キロメートルを走り切り、フィニッシュ。拍手と声援が送られた。

第1回信州安曇野ハーフマラソン
(市、市商工会など実行委員会主催・
信濃毎日新聞社共催)が6月7日、
豊科南部総合公園を発着点として、
約21キロメートルのコースで行われ
ました。
市制施行10周年記念事業として
行われた本大会には、県内外から
4,921人が参加。午前9時の号砲
と共にスタートしたランナーは、雄大
な北アルプスを背景に、のどかな田園
風景や、安曇野のまち並みの中をそ
れぞれのペースで駆け抜けました。
沿道からは大勢の市民の皆さんが
小旗を振ってランナーを応援。この
ほかコース内12カ所に設けられた応
援ポイントでは太鼓やオカリナ、吹
奏楽の演奏、YOSAKOI踊りが
行われ、初夏の日差しの中を走るラ
ンナーを励ました。また、本大
会には、市民など約600人のボラ
ンティアの皆さんも参加し、コース
整理や給水などを行い、大会を支え
ました。
フィニッシュ後、ランナーには、
完走記録証と完走賞(市内産のお米)
が手渡されたほか、温かい玉ねぎの
スープやおにぎりなどが振る舞われ
ました。抜けるような青空の下、フィ
ニッシュ会場はランナーたちの熱気
に包まれていました。



第1回信州安曇野 ハーフマラソン

～ 初夏の安曇野を4,921人が疾走～

